

第4回区民が取り組む環境エコ部会

日 時 平成21年1月27日（火）午後6時30分

場 所 川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 7人

菊地弘毅、木島千栄、須山令子、田辺富夫、富田順人、原田歩、古川博子

1 開 会

事務局 <会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の順守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者を紹介>

2 議 題

（1）実行計画について

部会長 事務局から資料の説明をお願いしたい。

事務局 前回、作成していただいた実行計画案について、事務局で詳細な内容を書き込んだものを説明する。

1つ目の課題「地域緑化」について。解決策の1つ目「緑のカーテンづくり」は、各家庭での緑化を推進するため、緑のカーテンを作るためのつる性植物などの種や苗を区民に配布する。具体的には、川崎区役所の窓口に種とパンフレットを用意して来庁者に持って帰っていただく。時季を考慮して5月までに行う。パンフレットについては、「海風の森をMAZUつくる会」などの環境の取り組みに実績がある団体が行う。種や苗については、2月14日に行われる市民活動交流フェスティバルでも配布を行う。どのような種類の種を用意するかについては検討を要する。

解決策の2つ目は、「第1期の『まちを花で飾る活動』の拡充」。まずは、区内で開催される大きなイベントに合わせて実施する。具体的には、19歳以下の日米選手による「アメリカンフットボールU-19グローバルチャレンジボウル2009川崎大会」が3月21日に開催される予定になっており、これに合わせて3月19日から23日まで会場周辺を花のプランターで飾る。場所は富士見通りから川崎球場に向かう県立図書館わきの歩道。

もう1つ、現在川崎駅東口の商店街で実施している「まちを花で飾る活動」の実施場所を広げていく。新川通りの大島商店街または鋼管通り商栄会などに花が飾れないか、島田委員に検討していただいている。場所が決まったら、改めて「海風の森をMAZUつくる会」と調整したい。

解決策の3番目「公共施設の緑化の推進」。公共施設に壁面緑化や屋上緑化などの取

り組みを呼びかけていく。具体的には、田島支所、建設センター、衛生研究所などを緑化し、ほかの公共施設にも取り組みを呼びかける。やはり海風の森をMAZUつくる会の協力を得て管理を行う。

続いて課題の2つ目「地域や家庭での環境意識向上のための啓発・教育」について。解決策の1つ目「環境意識向上ポスターの作成」は、小学校4校程度に、およそ10枚ずつ作品を出してもらい、アゼリアの広報コーナー等に掲示する。中でも特に優秀な作品を印刷して、町内会の掲示板や地域の街路樹等に掲示し、区民に環境エコを呼びかける。先日小学校の校長会で説明したところ、早速東小田小学校から申し出があった。引き続き依頼が来ると思う。

解決策の2つ目「環境出前講座の実施」については、地域の団体を対象に環境意識の向上を図り、日常生活の中でできる環境に優しい取り組みを紹介する。去年は試行的に3回、川崎区地域女性連絡協議会を対象に田島支所と教育文化会館で行った。昨年受講者として参加した川女連には今度は講師として、グリーンコンシューマーグループと一緒に参加してもらいたいと考えており、これらの区民団体との協働で行う。講座は1日単位とし、複数の団体に参加を呼びかける。講座のメニューは複数用意し、受講団体が選択できるようにする。会場は川崎区役所の会議室を使用する。

解決策の3つ目「環境エコ期間（週間）の設定」については、7月、8月など夏の暑い盛りの特定の期間を設定し、市政だよりの区版やホームページで広報して、重点的に環境エコ活動を区民に呼びかける。行政でも期間中に打ち水大会や出前講座などを実施していきたい。また、区役所窓口で「我が家の環境エコ宣言」の用紙や、家庭でできるエコの一覧を来庁者に配布したい。

解決策の4つ目「環境先進企業見学の実施」については、やはり去年試行的に行ったもの。5年生を対象に4校程度で、環境先進企業見学と環境出前講座を併せて実施する。出前講座の講師はグリーンコンシューマーグループ、川崎区地域女性連絡協議会等の区民団体が務める。見学する企業は、JFE、味の素、東京電力など幾つか用意し、1～2カ所を選んでもらう形をとりたい。これについても先日の校長会で説明し、東小田小と藤崎小学校から申し込みが来ている。

資料の裏に、実行計画策定の過程で出された意見を掲載している。これらについては行わないということではなく、今後検討していくという1つの課題となる。その中に「区内の川、池、海などの水資源の環境保全」とあるが、前回は海が抜けていたところを追加した。解決策として水に親しむイベントを実施するということでは、多摩川だけでなく、川崎区は唯一海に面しているということで、東扇島東公園の砂浜などのイベントなども今後検討していきたいと考えている。

部会長 実行計画を具体的に実効性の高い内容とするため、計画案について再度議論した

い。「緑のカーテンづくり」についてご意見がある方は発言してほしい。

委員 緑のカーテンを種や苗から育てた場合、その結果を残さなければいけないのでは。家庭でやった際には写真を撮って、市民の方から募集して記録を残すことなども必要なのではないか。

部会長 今後PRするときのために、我々が撮影するのではなく、立派につるが伸びたとか、このくらいの実がなったという写真を区役所や支所に持ち込んでもらうのが良いのではないか。種を配布する際にはパンフレットだけでなく、結果が出たら写真を届けてくださいという案内も入れておけばいい。

委員 去年多くの方がゴーヤーのカーテンづくりをやって、土壌の栄養が足りずに葉っぱが落ちてしまったり黄色くなってしまったということがあった。土づくりについてのパンフレットもあれば、参考として配布した方が良い。

部会長 種の種類についてはどうか。去年初めてゴーヤーに取り組んだが、あちらこちらで見たので、1回目にしては多分成功したと思う。今年は何をやるか。ゴーヤー以外で緑のカーテンを作るとすると、昔からやっているアサガオがある。

事務局 緑のカーテンといえばゴーヤーなどのつる性の植物が主体となると思うが、マンションなど物理的にできない場所もあると思う。それを考えると、代替りのものがあったとしても良いと思うが、いかがか。

委員 マンションだと、プランターに入れてできる範囲のもの。隣の部屋に迷惑がかからない程度の大きさで育てられるものということになる。

部会長 余り背の大きくなるものとなると、野菜になるか。ただ、病虫害の消毒しなければならぬものだと、近くに洗濯物を干していたりしてなかなか難しい。ゴーヤーは全然虫がつかない。

委員 ゴーヤーだと、マンションでは伸び過ぎることがあると思う。

部会長 ゴーヤーというのは、伸びてきたら摘んでいかなければならぬもの。そうすると、孫枝が出て、そこに実がなる。どんどん伸ばしてしまったら、実が余りならなかったという話がある。余り伸ばさないほうがかえって実がなる。

あとは間違いなく水やりが重要。沖縄の土は赤い土で、肥料のあるような土ではない。それであれだけ育つのはだから、肥料を上げ過ぎると、かえって根腐れを起こす。水をたっぷり上げれば、まず失敗することないと友人は言っていた。

ほかにゴーヤー以外に考えられるものはないか。

事務局 考え方として、部屋の温度を下げるのが目的なのだから、何か遮るもので部屋の温度を下げるということを出して訴えていけばいいのでは。別にゴーヤーではなく、すだれでもいい。マンションなどの方は別の工夫で温度を下げてもらうことにして、種を配布するのはゴーヤーだけでもいいのではないか。

委員 マンションの場合にはミニトマトやナス、ピーマンなどがいいと思うが、種類によっては伸びるもの、伸びないで実がたくさん付くものなどがあるようなので、それらを育てようという関心のある人向けに、そういったことを勉強できる環境を整えておくと良いと思う。ゴーヤーの育て方などの説明書きを置く際に、そういったことにも興味を持てるようなパンフレットも置くと良い。

部会長 種は意外と高い。ゴーヤーでも何粒かしか入ってなくて何百円とする。ただ、実がなったものを少し放っておくと、すぐに真っ赤に割れて中から種が落ちる。翌年気がつくとき、また芽が出てきたりもする。だから、種も採りましょうと呼び掛けるといい。種の保存法なども説明して、一々役所で上げるのではなく、翌年もまた自分で撒くところまでいかないと。

余り種を広く配布するのも難しい。例えば、トマトの種は安いところで買っても10粒ぐらい入って七、八百円する。到底予算的にも無理。また、トマトの種は素人では絶対まけない。トマトを上げるといったら苗からでないといけないし、そうすると少なくとも100円、200円はするだろう。まだ始まったばかりなのだから、なるべくコストがかからないようにしたほうがいい。ゴーヤーを定着させるように、自分でとった種でまた翌年やれるサイクルを立てるように呼びかけるパンフレットを作るのが良い。

委員 沖縄から来ている人は率先してやっている。

部会長 中島では以前から植えていた。最近ではアスファルトにしたので少なくともはなったが。

委員 ゴーヤーを育てるには棚を作らなければいけないのではないか。

部会長 棚を作る必要はない。グリーンネットを両側に張るだけでいい。

委員 ネットは100円コーナーで売っている。

委員 そこへ実がなって重くなっても大丈夫なのか。

部会長 大丈夫。

委員 アサガオも葉っぱがよく育たないとカーテンにはならないかもしれないが、結構良いものだ。

部会長 ゴーヤーと一緒にアサガオをまいてもいい。そうすると、ゴーヤーの中でアサガオの花が咲いて、意外ときれいだ。アサガオだったら、毎年種をとっている人は多い。

委員 我々も言っているだけではなく、今年の宿題として、ゴーヤーでもアサガオでも写真1枚を提出するというのはどうか。

部会長 委員は写真1枚提出。

委員 自分の家ができる環境になく、広いバルコニーもないので他のものを植えるのも難しい。県立川崎高校でも何種類か植えて緑のカーテンを作ったそうだが、その中でもゴーヤーが生い茂って緑のカーテンには一番良いということだった。自分の家でなくてもよければ、そこの写真を撮っておくが。

委員 自分の家でなくても、ここと思ったところを撮ってくればいい。

部会長 地域のニュースを提供する形で良いのではないか。

委員 種をまいたこともない人にやれといっても難しい。

部会長 ベランダで栽培するには、アオジソが、虫も付かないので良いようだ。葉っぱが伸び始めたらすぐに使える。

委員 一軒家で土があれば、ミョウガなどを育てているという話は聞く。

委員 土がなかったらないなりに育てられる。私はお勝手の床をあけたところに土を入れ

て、ミニトマトやおろし大根を育てている。ネズミ大根というおろし専門の大根なので、土が深くなくてもいい。

委員 去年はゴーヤーの種を学校などにも配布したと聞いているが、今年はどうなのか。

事務局 環境局では用意すると言っている。また種の配布はあると思う。

部会長 偶然だが、去年は3袋ぐらいもらったものは全部芽が出た。子育て支援センターの金網にもやって、随分実がなった。

委員 2月14日の市民活動交流フェスティバルでも、ゴーヤーの種やパンフレットを配布するのか。

事務局 市民活動交流フェスティバルでは、海風の森をMAZUつくる会で苗を用意していただくという話になっている。区民会議としての取り組みの一環として、海風の森をMAZUつくる会にご協力をいただいて配布するという形であって、種から配布する形ではない。

部会長 配布する種がたくさんあれば、学校を通して子どもたちに家に持って帰ってもらったり、学校の花壇にまいて、芽が出たものを子どもたちに持って帰って植えてもらうなど、いろいろな方法も考えられる。

委員 アサガオは学校で毎年夏休みに生徒にやらせている。

部会長 必ず作っている。アサガオの種は、学校では間違いなく手配するから、我々のほうで用意する必要はないだろう。学校でも毎年種を採っているのではないか。だから、ゴーヤーならゴーヤーに絞った方が良いのではないか。市の環境局でどのくらい用意してくれるのかは分からないが。

事務局 それについては今後こちらで確認し、足りない分については用意することとしたい。

部会長 市としても種があっても配布する窓口がないから、川崎区の場合は我々を通してやりますと言えば、喜んでくれると思う。場合によれば例えば町会長に渡して、町会を通して役員会のときに配る方法もある。

委員 種と一緒に配布するパンフレットは誰が作成するのか。

部会長 昨年も市が作っているの、それを参考にする。

事務局 インターネットでも育て方については良く出ているので、そういうものをコピーしておいておく方法がある。

委員 せっかく区民会議が関わって出すのであれば、配布資料にどこが主体になっているということを明示すれば、区民会議としてのアピールになると思う。少しメッセージを入れても良い。

事務局 検討する。

委員 行政に種や苗を用意してもらおうという話をしているが、余りいろいろやろうとしても、費用がかかって大変なのではないか。行政が種を配布する一方で、区民会議としてはポスターでゴーヤーを育てるように呼び掛けるとか、意識付けをする必要があるのではないか。苗は個々で買ってもらっても良い。好きな人だったら自分で買うだろう。

委員 ゴーヤーだけに絞れば、予算を集中することができるだろう。配布するパンフレットなどに区民会議の名前を入れて、ああ、区民会議が関わっているんだなと判断してもらったほうが良いと思う。

部会長 では、種の関係については事務局で問題を整理していただくということで、この方向で決定してよいか。

各委員 異議なし

部会長 次に「第1期の『まちを花で飾る活動』の拡充」についてご報告する。現在、「海風の森をMAZUつくる会」で東田商店街、たちばな通り、平和通りにプランターを置いている。今日も9時半から3時まで作業をしてきた。3月21日に「アメリカンフットボールU-19グローバルチャレンジボウル2009川崎大会」があり、その会場を花で飾るという案を区役所から投げかけられて、副会長以上が集まって話し合いをした結果、やろうということになった。

木のプランターを再度作ることも考えたが、日数的に難しいということで、去年作っ

た150鉢の中で、ハト、カラス、スズメなどに花を食べられてしまったものを植え替えることにした。今日51基の土を入れ替えた。今後苗を植えて、日当たりの良いところに置いておけば、設置するときには良い状態になっていると思う。木のプランターは、全部バーナーで焼き直して新品同様になっている。アメリカンフットボールの大会に関しては、このとおり順調に進んでいる。

あとは、23日まで置いたプランターをその後どうするか。うまく話がついて大島通りや鋼管通り商栄会に設置できれば、設置場所の拡充ということにもなる。そのような形で進めたいと思っているので、ご了承いただきたい。

次に「公共施設の緑化」について。大師支所、田島支所、建設センター、衛生研究所が対象として挙げられているが、これらは去年もやったのではないか。

事務局 建設センターは枯れてしまっとうまくいかなかった。衛生研究所はやらなかったようだ。

部会長 やる場所がないのではないか。あそこは10階建ての建物があるから日が当たるところがないのでは。日が当たるところがあれば、ネットを10メートルぐらい張ってやれば簡単にできる。建設センターは完全に水やりを怠ったからだ。あんな日当たりの良い場所で枯れてしまったのでは恥ずかしい。

委員 やはり意識がないからか。

部会長 これらの施設でやることになれば、「海風の森をMAZUつくる会」の会員もそれぞれ近所に住んでいるから、手入れなどを行うことができる。ただ、水やりだけは職員がやることを原則にしないといけない。市民が勝手に役所の建物をいじるのは良くないので、その辺りの認識を変えてもらわなければならない。足りないところは我々が補うことはできるので、ぜひ呼びかけて欲しい。

事務局 やることが決まれば、各施設にはそういった話をきっちりしたいと思っている。

部会長 「公共施設の緑化」についてはこういった方向で良いか。

各委員 異議なし

部会長 次に「環境意識向上ポスターの作成」について。すでに東小田小学校が名乗りを上げているということだが、我々が地元の小学校に呼びかけなどをする必要はないか。

事務局 まだ呼び掛けをしたばかりで、学校も来年度のカリキュラムを組んでいる最中だ
と思うので、もう少し様子を見たい。4校を見込んでいるので、数が少なければ改めて
お願いしたい。

部会長 次に「環境出前講座」については、昨年やったものを少し膨らませて、教わる立
場だった女性連絡協議会が今度は逆に教える立場になってくれると良い。地元の人によ
る出前講座ができる。

昨年協力してくれたグリーンコンシューマーグループの話では、小学校へ出前するこ
とが結構多いということだ。また彼らに、川崎区内の小学校にも出前講座をやってもら
うことをお願いしてはどうか。

事務局 区としては、出前講座はなるべく成人に受けてもらいたいと思っている。小学生
については先進企業見学やポスターづくりをお願いしている。学校にはカリキュラムの
関係があるので、余り負荷をかけてもいけない。小さな子どものいる人が受けてくれる
と、聞いたことが親から子どもに伝わって、子どもの環境意識も高まることになる。例
えばPTA協議会の方々に呼び掛けをすることを考えている。

委員 どのくらいの人からできるのか、窓口がどこだということを教えていただければ、
学校の成人教室なりで広く紹介することはできる。ただ、PTA協議会が中心となって、
こういう講座があるので来てくださいというのは、他にも出席しなければいけないもの
がいろいろあるので難しい。

事務局 何人ぐらいを対象にするか、どういうメニューの講座にするかなどは、今後環境
NPO団体等と調整し、決まった段階でお伝えしたい。

部会長 出前講座については関係する団体などと交渉をしてもらうこととして、我々のほ
うでも団体などの情報があれば申し出ることとしたい。

次に「環境エコ期間」について。去年打ち水は、商店街だけでなく稲毛神社のお祭り
でもやったのではなかったか。

事務局 お祭りの際、町会ごとに出す神酒所で打ち水をしていただくようお願いした。そ
れ以外に、駅前の6商店街で一定期間打ち水をやっていただき、それに合わせて区役所
でも行った。

部会長 それは市役所ではなく区役所の主催でやったのか。

事務局 区で行った。今回は明確に環境エコ期間として位置付け、その期間中に打ち水のお願いをしたり、区役所でもその期間は環境について意識してもらいたいということを広報紙なりでPRする。毎年やっていくうちに定着していけばいいと思っている。

エコ期間の時期については、東田公園で打ち水祭りをしているので、それに合わせて設定したい。

部会長 こういった方向性でよいか。

各委員 異議なし

部会長 次に「環境先進企業見学」について。東小田小学校や藤崎小学校が手を挙げてきたということなので、4校は決まりそうなのでは。

事務局 こちらからあえてアクションを起こす必要はないと考えている。

部会長 全体を通して、何かご意見はあるか。

委員 家庭での環境意識の高揚の話で、電気、ガス、水道などについては各業者で無駄をしないということも大切だと思うが、そういったことも含まれるのか。今度発売されるテレビは、人を感知して、人がいなければ消えるものらしい。

部会長 ここで呼び掛けるというのは、エコ宣言の用紙や、家庭でできるエコの一覧表などを配布するという形だ。

事務局 例えばコンセントをまめに抜くことによって1カ月で電気代がどのくらい削減できるとか、水を流しっ放しにしなければどのくらい安くなるだとか、身近なエコ活動を経済的な面を絡めて一覧にした用紙を配布したいと考えている。

部会長 私の友人は、最近は野菜の皮をむかないそうだ。生ごみは野菜から出さないという主義でやり始めたということだった。

委員 コンセントを抜くということも良いが、必ず元を持って抜く、差すときも元まできちっと入れるといった注意事項も入れておいたほうが親切だと思う。

部会長 一つ検討いただきたいものがある。「みんなで地域緑化、環境保全に取り組もう」というチラシがお手元にある。川崎市地域環境リーダー修了生が主催する、環境をテーマにした講演会や活動団体の発表会である「エコ・フェスタかわさき2009」が3月15日（日）に予定されているので、そこで区民会議の取り組みをPRしたいと藤岡委員が作成したもの。「区民会議とは?」「具体的には何をしているの?」「区民が取り組む環境エコ部会ではこんなことを考えています。」などと分かりやすくまとめてくれた。最後に「実行計画が決まったものから順次お知らせします。地球は子供たちからの預かりもの。私たちが住む川崎区をみんなの手で今以上に住みやすいまちにしていきたいと思います!」と、第2期川崎区区民会議から呼び掛けている。

川崎区区民会議でエコ部会が立ち上がっているのは環境関係の団体にはすでに知られていて、ぜひ連携して何か取り組みませんかという投げかけも来ている。区民会議ではこういうことを実施に移そうとしていますということを発表することで、こうしたほうがいいという知恵をもらえたら良いと思う。また団体がやることに区民会議として協力できるものもあるのではないかな。

次に、第8回川崎区市民活動交流フェスティバルについて。社会福祉協議会と川崎区役所保健福祉センターが行うもので、2月14日に教育文化会館で開催される。「海風の森をMAZUつくる会」もボランティアということで出て、1年間の活動記録などを発表する。今うちで10月ごろに種をまいて、パンジー500鉢ぐらい育てている。順調にしているのが300鉢ぐらいあるので、その苗を、100、200持ち込んで配布しようと考えている。

当日はエコに関するアンケートをやって、答えてくれた人に花を1鉢上げることを考えている。「エコのために何をやっていますか」「節水をしていますか」など、10問程度で行う。花を上げるときも、家にあるレジ袋を持ち寄って、一度使ったものに入れて渡すことにしている。物をもらえとなると、人もたくさんと来てくれるので、毎年何かしら用意している。

簡単なアンケートをすることで、どんなことに興味があるのかについて、幾らかでも数字がつかめるかと思っている。

皆さんに同意いただければ、こんなことを聞いたほうがいいという提案をいただいて、それらを採り入れて作りたいと思っている。

委員 意識喚起をする意味でも良いのではないかな。

部会長 こんなことを聞いたらどうかというものは何かあるか。余り難しくないものが良い。「日ごろからエコに取り組んでいますか」「取り組んでいるしたら、何ですか」と

か。

事務局 やっていてもいなくても、今後実践したいか、したいとしたらどういうことか。
そういうことも今後議論をする材料になると思う。

委員 アンケートにも、先ほど検討したコンセンストを抜くだとか、家庭でできる取り組みを入れておいても良いのではないか。

部会長 私は節水を心がけている。朝、お湯が給湯器から出てくるまで、バケツ八分目まで冷たい水が溜まる。今までは垂れ流ししていたが、溜めておいてベランダの植木にあげている。そういったことも含めても良い。あと、例えば夏にゴーヤーのカーテンを作ることを計画しているが、種は要るかとか。

事務局 これが区民会議の取り組みの一環としてアンケートをとるということであれば、一度試案をつくって、それを委員が確認する形を取った方がよいのではないか。

部会長 なるべく早く簡単なものを作って流して、これが抜けているというのがあれば言ってもらおうことにするか。

委員 そのために了解を取るということは必要ない。もうやろうと決まったのだから、検討して作っていただいたら、それで良いと思う。

部会長 お任せしていただいて良いか。

各委員 異議なし

部会長 もう1点、事務局から説明をお願いしたい。

事務局 「川崎国際環境技術展2009」が、2月17日、18日にとどろきアリーナで開催される。新エネルギー技術やリサイクル技術等の幅広い分野の国内外のすぐれた環境技術製品が集結する展示会で、環境改善技術、廃棄物リサイクル技術、省エネ技術、エコカーなどの展示がある。興味のある方は参加していただければ。

部会長 議論もし尽くしたようなので、部会の最終案として全体会議に提出したい。

(2) その他

事務局 全体会議を2月17日に大師支所で行う。当日は区民会議の参与と委員の懇談会を予定している。荒井副委員長が司会進行をし、ディスカッション等を行って、委員長が総括して終了する予定となっている。

3 閉 会

事務局 <全体会議の日程、区ホームページでの会議録公開、市政だより川崎区版への記事掲載を説明>

午後 8時 1分 閉 会